

## 「特集」に寄せて

慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所  
(本特集の研究代表者, 兼特集編集者)  
水元 豊文

インターネットを中心とする新たな情報メディア環境は、個々人の緊密なコミュニケーションを可能にし、われわれの生活を大きく変貌させた。たしかにインターネットにより、生活は便利になり、経済活動も活発になった。

しかし、自由で匿名性の高い双方向通信環境を実現したこのネット社会では、テレビなどの既存メディアの時代には問題にならなかったさまざまな社会的諸問題が日々発生している。

ネット社会が円滑に機能していくためには、法律問題だけでなく、法律論の基本原則となる倫理問題の問い直しが強く求められているといえよう。

この特集では、情報倫理学で扱われるネット社会に固有の倫理問

題だけでなく、ビジネス倫理、経済倫理、職業倫理といった、ネット社会をとりまく広い意味での応用倫理問題を検討し、ネット社会のあり方を問うものである。

執筆に協力いただいた方々は以下に記載するとおりである。それぞれ専門分野を生かし、ネット社会と倫理問題について新たな視点を提供しようと意欲的に取り組んでいただいた。この場を借りて感謝したい。

この特集で取り上げた「ネットと倫理問題」については、2002年度から「慶應義塾大学メディアコミュニケーション研究所・研究教育基金」から助成を受けて研究会を開催し、さらに深めた研究を進めたいと考えている。

研究代表者	水元 豊文	慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所助教授
共同研究者	中島 洋	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
同	梅津 光弘	慶應義塾大学国際センター専任講師
同	新保 史生	明治大学法学部講師
同	林 紘一郎	慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授